

# 令和6年度 学校評価（保護者・関係機関）について【概要報告】

県立鹿屋特別支援学校 学校評価係

## 1 実施期間

令和6年11月22日（金）～12月13日（金）

## 2 アンケート対象者

学部	小学部	中学部	高等部	合計
人数	95	79	84	260

## 3 実施方法

- ・ 11月18日に「学校評価アンケート（お願い）」という依頼文書を全児童生徒へ配布
- ・ web方式（Google フォーム）を基本としたが、安心あんぜんメールに未登録の家庭や依頼文書配布時に、担任へ申し出があった保護者にのみ紙媒体の配布を行った。
- ・ 11月22日午前8時にあんしん安全メールにて全保護者宛にアンケートURLを配信

## 4 回答率

	小学部	中学部	高等部	全体
回答者数	72	61	58	193
回収率	75.8%	77.2%	69.0%	74.2%
R5年度	64.8%	78.7%	56.7%	65.3%

## 5 評価基準

評価4：十分達成できている（そう思う）	評価3：概ね達成できている（ややそう思う）
評価2：やや不十分である（あまり思わない）	評価1：不十分である（思わない）

## 6 分析方法

評価値の平均値<sup>※</sup>を出し、記述意見も参考にした。

※ 平均値とは、下記の式で算出した数値を表す。

$$\frac{(\text{評価4} \times \text{評価者数} + \text{評価3} \times \text{評価者数} + \text{評価2} \times \text{評価者数} + \text{評価1} \times \text{評価者数})}{\text{総評価者数}}$$

## 7 結果

	番号	質問	小学部	中学部	高等部	関係機関	全体	R5年度	R5年度からの増加
安心・安全	1	学校は、子どもたち一人一人の人権を大切に育てていると思いますか。	3.79	3.72	3.58	3.00	3.70	3.63	0.06
	2	学校は、子どもたちの健康や感染症対策等について、連絡帳等を活用して家庭と連携を図っていると思いますか。	3.83	3.61	3.64	3.00	3.69	3.53	0.16
	3	学校は、子どもたちの健康や安全に配慮した教育や環境整備を行っていると思いますか。	3.74	3.61	3.52	3.00	3.62	3.54	0.08
指導・支援	4	学校は、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用していると思いますか。	3.76	3.59	3.64	3.00	3.66	3.55	0.11
	5	学校は、子どもたちが生き生きと学ぶために授業の工夫（ICTの利用など）を行っていると思いますか。	3.71	3.52	3.48	3.00	3.57	3.37	0.20
	6	学校は、子どもたちの学びの姿を、連絡帳、通信、通知表（のびゆくすがた）等を用いて伝えていていると思いますか。	3.90	3.70	3.70	3.50	3.77	3.67	0.10
	7	学校は、家庭等と連携しながら、子どもたちの将来を見据え、個々に必要な力をつけるための指導の充実を図っていると思いますか。	3.76	3.50	3.56	3.00	3.60	3.45	0.15
地域連携	8	学校は、子どもたちの社会経験や人と関わる経験を広げる教育活動を行っていると思いますか。	3.66	3.39	3.48	3.00	3.51	3.44	0.06
	9	学校は、本校の教育や、特別支援教育の理解啓発のために、情報発信を行っていると思いますか。	3.57	3.41	3.48	3.00	3.48	3.36	0.12
	10	学校は、作品の出品や検定受験、スポーツ大会出場等の機会を設け、子どもたちの「やりがいや生きがい」を育てていると思いますか。	3.48	3.46	3.66	3.00	3.52	3.42	0.11
	11	学校は、地域から信頼される学校づくりに取り組んでいると思いますか。	3.66	3.41	3.50	3.00	3.52	3.43	0.09
研修・服務	12	学校は、特別支援教育に関する専門性を有する職員集団であると思いますか。	3.71	3.41	3.52	3.00	3.54	3.42	0.13
	13	学校は、職員同士が連携・協力し合い、活力があると思いますか。	3.62	3.48	3.50	3.00	3.53	3.46	0.08

## 8 全体を通して

- ・ 回収率が 65.3%→74.2%と大幅に上昇した。一方、回収方法について学校職員から意見も出されていたので、回収の呼び掛け方法や回数及び回収率の目標設定（ゴールの設定）についても職員で図っておく必要があった。（持続可能な回収方法も要検討）
- ・ 全質問（13個）において、全体の平均値が上昇していた。【7-(1)参照】
- ・ 質問2「学校は、子どもたちの健康や感染症対策等について、連絡帳等を活用して家庭と連携を図っていると思いますか。」，質問5「学校は、子どもたちが生き生きと学ぶために授業の工夫（ICTの利用など）を行っていると思いますか。」，質問7「学校は、家庭等と連携しながら、子どもたちの将来を見据え、個々に必要な力をつけるための指導の充実を図っていると思いますか。」の3項目については、大きく上昇しており、今年度の取組が高く評価されている。【7-(1)参照】
- ・ 各質問での「良かったことや今後も続けてほしいこと、改善策等」では、肯定的な意見や感謝の言葉が多く見られた。
- ・ 質問6「学校は、子どもたちの学びの姿を、連絡帳，通信，通知表（のびゆくすがた）等を用いて伝えていると思いますか。」の数値が最も高く、現在の取組が高く評価されている。